

当社火力発電所の復水流量計下流部配管肉厚測定結果

(単位: mm)

発電所名	号機	設計肉厚 ₁	最小測定肉厚 ₂	必要肉厚 ₃	減肉量 (計算値) -	流量計設置個所
八戸	3	17.40	16.0	2.83	1.4	低圧給水加熱器出口
		10.30	9.6	4.97	0.7	復水ポンプ出口
	4	10.30	9.7	5.60	0.6	"
仙台	1 4	6.70	5.8	4.50	0.9	"
	2	9.30	9.0	2.84	0.3	"
	3 5	8.50	8.0	2.84	0.5	"
新潟	3	11.10	10.4	7.17	0.7	"
	4	10.30	8.9	4.64	1.4	"
秋田	2	10.30	9.4	2.25	0.9	"
		17.40	16.8	2.68	0.6	低圧給水加熱器出口
	3	8.40	7.9	3.70	0.5	復水ポンプ出口
		8.40	8.6	2.07	-0.2	低圧給水加熱器出口
	4	10.30	10.0	6.40	0.3	復水ポンプ出口
		11.10	11.2	3.90	-0.1	低圧給水加熱器出口
新仙台	1	9.50	9.2	1.83	0.3	"
	2	10.30	9.7	6.76	0.6	復水ポンプ出口
		11.10	11.2	4.45	-0.1	低圧給水加熱器出口
東新潟	1	10.30	9.6	6.60	0.7	復水ポンプ出口
	2	10.30	9.8	7.24	0.5	"
	3-1ST	10.30	10.0	2.17	0.3	"
	3-2ST	10.30	10.0	2.17	0.3	"
	4-1ST	11.10	11.2	4.97	-0.1	"
	港1	10.30	10.0	4.48	0.3	"
	港2	8.40	7.9	4.72	0.5	"
能代	1	11.10	10.9	2.79	0.2	低圧給水加熱器出口
		10.30	10.4	6.66	-0.1	復水ポンプ出口
	2	11.10	10.8	3.90	0.3	低圧給水加熱器出口
		10.30	10.7	6.92	-0.4	復水ポンプ出口
原町	1	12.70	13.0	7.36	-0.3	低圧給水加熱器出口
		16.70	15.6	9.66	1.1	復水ポンプ出口
	2	11.25	11.2	8.17	0.1	低圧給水加熱器出口
		19.00	18.9	13.16	0.1	復水ポンプ出口

<備考>

1:設計肉厚とは、配管設計時の配管肉厚を言う。

(設計肉厚は、JIS規格により厚さ許容差を+15.0%、-12.5%と規定しており、配管製作で設計肉厚の増減が許容される。)

2:最小測定肉厚とは、今回の配管肉厚測定結果における最小の肉厚測定値を言う。

3:必要肉厚とは、配管強度計算上で必要とされる最小の肉厚値を言う。

4:仙台火力1号機は、平成15年10月より長期計画停止中である。

5:仙台火力3号機は、平成16年3月に廃止している。